

地域の背景・課題

【総合戦略の基本目標】 稼ぐ力の創出で“働きたいまち”へ ～地産地消・地産外商により経済の域内・域外循環の拡大を図ります～

■本市の基幹産業である農業は、農業従事者の高齢化等により生産面積の減少が顕著。農業粗生産額は過去5年間で減少し、農家1戸あたりの生産額も減少。多種多様な農林畜産物の生産が可能なポテンシャルを有した地域でありながら、知名度が低く、販路先は市場流通が70%以上を占め、価格においても市場ニーズに左右されている状況で、農家所得の向上につなげていない。

⇒ **市場に左右されないブランド力向上及び農業者育成による資質向上を通じて、強い産地、強い農業者をつくり、農業の所得向上につなげ仕事を創出していく**

■本市の観光入込客・宿泊客数はともに減少しており、各種団体の連携や地域の幅広い資源を最大限に活用することが必要不可欠。一方、誰もが健康で安心して暮らせるまち「癒しの里きくち」の実現に向けて、健康をキーワードにした事業に取り組み、一定の効果も得られている。

⇒ **本市の豊かな自然や農作物、温泉等の資源を“健康”をキーワードに結び付け、新事業の創出や人の流れにつなげていく**

取組の概要

【事業分野】 しごと創生：農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野、ローカルイノベーション分野

①ブランド力・販売力強化

- ★本市独自の農産物栽培基準「環境王国菊池農業生産基準」（菊池基準）を設定。
- ★全国食味ランキングで最高ランク「特A」を8年連続受賞した「菊池米」の国際的なブランド力を強化。
- ★機能性食品として可能性が高い、菊芋・ヤーコンのブランド化。
- ★市公設のネットショップ「菊池まるごと市場」等でのPR及び販売等による販路拡大。



①温泉療法等の医学的検証及び資源調査

- ★温泉の効能や菊芋、ヤーコンの健康食品としての医学的検証 など

②ヘルスツーリズム事業

- ★「スマートライフステイ」や「湯ったりドック」、「湯中運動」等の効果的運用、地元産品を健康食材として活用 など

③グリーンツーリズム事業

- ★民泊モニターツアーの効果検証やツーリズムプログラムの検討、地元農産物を活用した農家レストランの支援 など

④歴史・文化（菊池一族等）コンテンツを活用した取組み

- ★菊池一族の史跡等を活用したウォーキングプログラムの開発 など

⑤人材育成

- ★おもてなし人材の育成や温泉療養インストラクターの養成 など

②人材育成・人材確保等

- ★農業技術を有し経営感覚を身に付けた、国際競争に打ち勝つ農業経営者の育成。
- ★中山間地における遊休農地等のデータベース化の推進。

⇒マッチングによる**若手生産者の定住化**を促進



(仮称) 菊池市ヘルスケア関連産業協議会

「癒しの里きくち」の実現



「(仮称) 菊池市ヘルスケア関連産業協議会」を設立し、運営体制づくり、組織づくりを推進

「菊池まるごと公社」を設立し、地域農業の自立を目指す